人権の目 212

「差別をなくする輪をひろげよう」市民運動作品　作文　PTA・一般の部　優秀賞

「幸せ」の基準

三木特別支援学校PTA　藤岡　貴志

私は、2人の障がいのある子の父親です。長女は重度の発達障害で、長男は自閉症です。

長女は、肺の中で出血が起きたことが原因で、出産予定日の1カ月前に生まれました。手のひらに収まるほど小さな体で、自力で呼吸ができず、すぐに大きな病院へ搬送されました。長期にわたり集中治療を受け、何とか一命を取りとめましたが、結果として脳に重い障害が残りました。

長女は呼吸器系が弱く、風邪をひいては気管支炎になり入退院を繰り返しました。それでも少しずつ丈夫に成長し生活が落ち着いてきた頃、待望の長男が生まれました。長男は3歳頃から人並み外れた記憶力を発揮したため、私は「もしかしたら、この子は天才ではないか」と期待していたのですが、保育園に入る前の診断で自閉症であることを告げられました。

私は、長女が生まれた時は茫然自失になりましたが、それでも何とか現実を受け入れることができました。ですが、長男の診断結果を聞いた時、私は担当の先生と妻の前で号泣しました。長女ばかりか長男をも不幸にしてしまった。人並みの幸せな人生を歩ませてあげることができない。親戚に対して合わせる顔がない。私たち夫婦が老いた時、長女と長男は生活していけるのか。色々な事が頭をよぎり、私は、このような運命を与えた神様を恨みました。

2人の障がい者を持つ生活は、体力だけでなく周囲への配慮が必要でした。家では身の回りの世話をするだけでいいのですが、外では子どもが奇声を発したり奇妙な行動をとったりすることから、周りの人に迷惑をかけてはいけないと家族全員で積極的に外出することはあまりありませんでした。そんなある日、保育園から帰ってきた長男が私の足にしがみつき、私の顔を見上げてニコッと笑ったのです。その瞬間、私はそれまでの自分の考えが間違っていたことに気づいたのです。

長男の笑顔は純粋そのものでした。それに引き換え私は、自分たちの境遇を悲観してばかりで、子どもの事を第一に考えていませんでした。要は、自分の価値観を基準にして幸か不幸かを判断していたのです。「自力で呼吸が出来ず、2歳頃までまともに立つことさえできなかった長女は、今では体が丈夫になって欲しいものを指差して意思表示するようになった。長男は、保育園児だというのに漢字が書けるし掛け算もできる。これを幸せと言わずして何と言うのだろう」。続けて私は、子どもに対して自分がすべき事を考えました。「もっと外に出るべきだ。子どもにとって外の世界は刺激になる。私が子どもの経験の機会を奪ってどうする。それこそ子どもにとって不幸ではないか」。その日から私は、家族で遠方にドライブしたり外食をしたりするようになりました。長女と長男は、外出を喜んでいましたが、長女の介護をしなければならない妻にとってはかなりの重荷だったと思います。この場を借りて妻にお詫びと感謝の気持ちを伝えたいと思います。

現在、19歳の長女は、日中市内の福祉施設にお世話になっており、毎日のんびり楽しく過ごしています。一方、長男は三木特別支援学校中学部の3年生で、先生方によく指導していただきながら、家ではパソコンやタブレットを自在に操り家族を驚かせています。子どもの成長を見るのはなんと楽しい事でしょう。出来る事がますます増えるように親として頑張らねばと思います。

私は、特別支援学校などで重い障がいのある子どもたちに接する機会が多いのですが、いつも感じるのは、彼らの「純粋さ」です。長男が私に気づきを与えてくれた時もそうでしたが、子どもたちは喜怒哀楽をストレートに表現します。嘘偽りない純粋な気持ちで向かって来てくれるからこそ、私たちも心を全開にして接することが出来ます。ですが、時としてその純粋さが誤解され、容姿や言動の特異さも相まって、障がいのある子どもに対する偏見や差別につながる事があるのも事実です。最近は、障がい者に対する理解がかなり進んできていますが、私は、人には色々な性格や考え方があるため、偏見や差別を完全になくす事は難しいと考えています。そのため、「偏見や差別をなくす方法」よりも、「障がい者とその家族が笑顔になる方法」を考えるほうが、より建設的ではないかと思うのです。笑顔ある所に偏見や差別は生まれません。障がい者とその家族が笑顔になり、学校や地域の人たちが笑顔になり、その輪がどんどん広がって、たくさんの笑顔が皆を幸せにする。私は、誰もが幸せになる方法を自分の子どもから教わったような気がしてなりません。これからも「子どもの笑顔と家族の笑顔」を幸せの基準にして、子どもの成長を見守っていきたいと思います。

新型コロナウイルス感染防止のため、変更・中止になる場合があります。
最新情報は電話やホームページなどでご確認ください。

子育て

児童センター

申 💻
問 ☎82－2069
休 第4日曜
開館時間　午前9時～11時45分
午後1時～4時15分

▲ホームページはこちら

小学生事業　チャレンジKids「バレンタイングッズ作り」

日 1月22日(土)
午前10時～11時30分
場 児童センター
対 市内在住の小学生
内 バレンタインのプレゼント作り
期 1月8日(土)まで
費 200円　持 飲料　定 抽 16名

母親リフレッシュ教室「アロマセラピー」

日 1月27日(木)
午前10時～11時30分
場 教育センター　4階和室
対 子育て中の母親
内 アロマオイルを使った親子のケアとバスボム作り
講 栗田佐久子さん
期 1月13日(木)まで
費 1,000円
持 エプロン、ハンドタオル、飲料
定 抽 16名　託 1歳以上

チャイルドシートの貸出

日 12月18日(土)
午前9時30分～11時
場 市役所北玄関
期 12月17日(金)まで(要申込)
申 ☎ 窓
定 先 17名(11月22日時点。令和4年1月分受付可。)

幼児用シート(ISOFIX型も)の寄贈をお願いします。

ボランティア募集中(チャイルドシートの取付・受付)

問・申込 (市)生活環境課 交通防犯係

みきっこALBUM

Thank you

堂山　善太(ぜんた)くん(2歳)

みきっこ大募集中！

遊びに来てね！子育てキャラバン
10:00～11:30

絵本の読み聞かせやふれあい遊びなど、親子で楽しいひと時を過ごしませんか。専門家による相談もできます。

㊜保健師　㊟栄養士　㊢作業療法士　㊬臨床心理士
対 0歳～就学前の子どもと保護者

申込不要

場・問 吉川児童館　☎72－2220

	日程	内容
あかちゃんひろば	3日㊎	ちいさなクリスマス ㊜
わくわくひろば	17日㊎	クリスマスごっこ・誕生会 ㊬

問 児童センター　☎82－2069

	日程	場所・内容
みんなであそぼう	8日㊌	自由が丘公民館 ㊟
	9日㊍	別所町公民館 ㊜
	10日㊎	青山公民館 ㊜ ㊢
	15日㊌	児童センター　誕生会・クリスマスのあそび ㊜
	16日㊍	緑が丘町公民館 リズムあそび ㊜
	27日㊊	志染町公民館 ㊢

要申込　対 市民　申 💻　定 先 各10組

場・問 児童センター　☎82－2069

	日程	内容
あかちゃんあつまれ 1 対 5カ月までの乳児と保護者	1月17日㊊	はじめてのお正月あそび ㊜
あかちゃんあつまれ 2 対 6～9カ月の乳児と保護者	1月18日㊋	はじめてのお正月あそび ㊜
あかちゃんあつまれ 3 対 10～12カ月の乳児と保護者	1月25日㊋	はじめての節分あそび ㊜